

広報 まつのやま

1993 8月号 (No.210)



圧倒的な強さで優勝した「帰って来たカカア天下」チーム

(町民つな引き大会)



ながなわとび大会で優勝した上級池Aチーム

△△△△ 今月号の話題 △△△△

- 茨城県議員総選挙…………… 2
- 保健医療福祉計画について…………… 3
- 学童親善水泳大会…………… 4
- 7月のフォトニュース…………… 6・7
- 集落探訪(赤倉)…………… 8
- 公民館だより…………… 10・11

衆議院議員総選挙

白川氏雪辱、高鳥氏滑り込み 筒井氏138票差で苦杯



貴重な一票を大切に

政権交代の是非を問う第四十回衆議院議員総選挙が七月十八日行われ、自民党は候補者不足と新党ブームの波を受けて過半数を大きく下回りました。

また、前回総選挙で反消費税、リクルート事件批判の追い風に乘って躍進した社会党は、今回既成政党批判の逆風を受け議席を半減させました。

逆に新党ブームに乗った新生党、日本新党、新党さきがけは順調に議席を伸ばし、三新党合計で百議席を超えました。

新潟県第四区には前回総選挙と同じ五人が立候補し、二議席をめざして激しい選挙戦が展開されました。

前回次点に泣いた白川勝彦氏は、「元祖政治改革」を前面に訴えトップで返り咲きました。

二議席目は熾烈な争いで、現職閣僚（経済企画庁長官）の高鳥修氏が、筒井信隆氏にわずか

一三八票差という薄氷を踏む思いで、辛くも滑り込みました。

前回トップ当選の筒井氏は既成野党への逆風が響き、二万三千票もの大幅減で惜敗しました。

宮越馨氏は新党ブームの追い風を受け、五万票の大会に乗せましたが、自社両党の激戦にあと一歩及びませんでした。

田中徳光氏は前回より票を伸ばしましたが、他の四氏に大きく水を開けられました。

なお、四区の確定票数は次のとおりです。

当選 白川勝彦（自民元） 七六、六九八票
 当選 高鳥修（自民前） 五九、二〇二票
 当選 筒井信隆（社会前） 五九、〇六四票
 宮越馨（新生新） 五一、七三一票
 田中徳光（共産新） 五、七〇六票

松之山町の結果 No.1

最終有権者数	2,951人
投票者総数	2,659人
有効投票者数	2,643人
無効投票者数	16人
投票率	男 91.02%
	女 89.25%
	計 90.11%

松之山町の結果 No.2

宮越馨	128票	4.84%
田中徳光	178票	6.74%
筒井信隆	218票	8.25%
白川勝彦	1,121票	42.41%
高鳥修	998票	37.76%
合計	2,643票	100%

投票区別最終有権者数・投票者数・投票率

投票区	最終有権者数	投票者数	投票率
1	620人	534人	86.13%
2	172	155	90.12
3	68	58	85.29
4	106	102	96.23
5	155	145	93.55
6	745	668	89.66
7	87	80	91.95
8	210	194	92.38
9	70	66	94.29
10	91	84	92.31
11	24	23	95.83
12	81	76	93.83
13	417	382	91.61
14	105	92	87.62

保健医療福祉計画について

計画作成の背景

高齢化が世界でも例を見ない速さで進行し、寝たきりや痴呆性老人等が増加する一方で、家族や地域の介護機能の低下、福祉ニーズの多様化など、福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、本格的な超高齢化社会に対応した社会システムを早急に構築することが課題となっています。

作成の趣旨

このような背景のもと、「高齢者や身体障害者の保健福祉の充実を図るため、住民に最も身近な町村で在宅福祉サービスと施設福祉サービスがきめ細かく一元的かつ計画的に提供される体制を整備する」ことを目指して老人福祉法が改正され、「老人ホーム等の入所措置権の町村移譲」「老人保健福祉計画の作成義務」が規定され、平成五年四月一日より施行されることになりました。

松之山町では、保健・医療・

福祉・障害者・児童等を含む総合的な計画を作成することとし、

- 町の特性を踏まえ、
- (1) 地域における総合ケアシステムの確立
 - (2) 在宅ケアの推進
 - (3) 利用しやすい保健福祉サービス及び医療との連携
- 等を基本方向として計画を作成することになりました。

住民のニーズ

(意識)調査

今年四月末から五月末にかけて、四十歳から五十歳、六十五歳以上、障害者、寝たきり老人の皆さんを対象とした意識調査を実施しました。

この調査には現在の状況、今後はどうされるか、どんな要望を持っているか等の設問があり、集計結果は町の老人保健福祉計画を作成するための重要な資料となります。

なお、質問及び集計結果をまとめた冊子が近日中に出来上がる予定です。

計画策定の機構

この計画策定に当って、住民のニーズを反映した町独特な計画を策定するため、町長の諮問機関として「福祉計画策定委員会」が設置され、十五名の委員が委嘱されました。委員の構成は、学識経験を有

計画の策定

する者、議会代表、行政機関及び医療関係団体・社会福祉協議会等の代表者、老人クラブ・婦人会・青年団・校長会・商工会身障者等の代表者で、任期は二年間です。

町民ニーズ調査の結果、アンケートなどの結果を踏まえて、町独自の計画として平成十二年までを見越して立てることになります。

実施について

この計画をもとに、町の福祉事業が実施されることとなります。

今後は国・県の援助も期待されますが、町の財政面でも大変な時代を迎えることが予想されます。

人にやさしい福祉はお金がかかりますが、町民各位から今後の福祉について十分考えていただき、暖かい心でご理解とご協力をお願いします。

(住民課長 高橋寛一)



みんなそろって楽しい食事 (不老園)

好記録続出!

学童親善水泳大会

七月二十六日町民プールで、第二十三回松之山町学童親善水泳大会が行われました。

大会には四年生以上の全児童が参加し、プールサイドには各校のテントが張られ、一生懸命泳ぐ選手たちに声援を送っていました。

なお、学年・男女・種目別と細かく区分されていますので、一位及び新記録の方のみ掲載しました。(リレーを除く)

また、今年から二五m種目はバタフライのみとなりました。
◎は新記録を表します。

◎ 四年生男子

- ▼五〇m自由形 小野塚純也(東川) 42秒5
- ▼一〇〇m自由形 小野塚純也(東川) 1分39秒2
- ▼五〇m平泳ぎ 妻島伸二(浦田) 1・13・6
- ▼一〇〇m平泳ぎ 高橋佑介(松里) 2・32・2
- ▼五〇m背泳ぎ 高橋友也(松里) 1・26・5

◎ 四年生女子

- ▼五〇m自由形 樋口聡美(東川) 45・4
- ▼一〇〇m自由形 小野塚真砂子(東川) 1・51・8
- ▼五〇m平泳ぎ 小野塚良美(東川) 58・1
- ▼一〇〇m平泳ぎ 小野塚良美(東川) 2・04・8
- ▼五〇m背泳ぎ 高沢美紗(松里) 1・17・1

◎ 五年生男子

- ▼五〇m自由形 福原高志(松里) 38・7
- ▼一〇〇m自由形 谷口滋康(浦田) 1・40・8
- ▼五〇m平泳ぎ 高橋正作(松里) 51・1
- ▼一〇〇m平泳ぎ 高橋正作(松里) 1・50・4
- ▼五〇m背泳ぎ 谷口滋康(浦田) 57・4
- ▼五〇m自由形 久保田忍(蒲庄) 40・2

◎ 五年生女子

- ▼五〇m自由形 久保田忍(蒲庄) 40・2

◎ 六年生男子

- ▼一〇〇m自由形 久保田忍(浦田) 1・37・6
- ▼五〇m平泳ぎ 小野塚円(松里) 51・3
- ▼一〇〇m平泳ぎ 南雲あゆみ(浦田) 2・07・3
- ▼五〇m背泳ぎ 梶沢さやか(松之山) 1・01・9
- ▼五〇m自由形 村山卓也(松里) 36・6
- ▼一〇〇m自由形 村山卓也(松里) 1・29・1
- ▼五〇m平泳ぎ 浦井喜夫(松之山) 49・7
- ▼一〇〇m平泳ぎ 浦井喜夫(松之山) 1・52・7
- ▼五〇m背泳ぎ 佐藤利昭(浦田) 1・00・1

◎ 六年生女子

- ▼五〇m自由形 小野塚沙織(東川) 34・2
- ▼一〇〇m自由形 小野塚沙織(東川) 1・19・4
- ▼五〇m平泳ぎ 南雲智子(浦田) 48・4
- ▼一〇〇m平泳ぎ 南雲智子(浦田) 1・46・6
- ▼五〇m背泳ぎ 高橋佳代(松里) 47・3

◎ バタフライ

(学年関係なし)

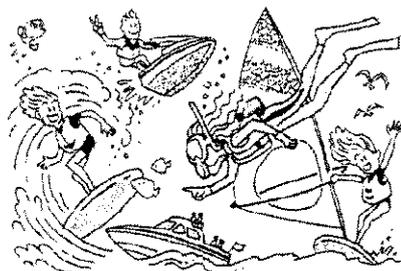
- ▼男子二五m 松沢隆幸(松之山六年) 23・1
- ▼男子五〇m 村山卓也(松里六年) 46・9
- ▼女子二五m 大見千恵子(東川六年) 24・0
- ▼女子五〇m 小野塚沙織(東川六年) 46・4

◎ 二〇〇mリレー

- | | | |
|-----|----------|--------|
| ▼男子 | 一位 松里 A | 2・42・7 |
| | 二位 松之山 A | 3・02・0 |
| | 三位 東川 A | 3・03・6 |
| ▼女子 | 一位 東川 A | 2・36・8 |
| | 二位 松里 A | 2・43・0 |
| | 三位 浦田 A | 2・54・2 |



スタートの瞬間





趣向を凝らした衣装で頑張った豊育女チーム

七月十五日夜、町民体育館で第九回町民つな引き大会が行われました。

男性チーム部門に十五チーム、女性チーム部門に八チームが参加し、豪華賞品をめざして力一杯綱を引きました。

今年は常勝を誇った綱引き同好会チームが審判などで出場せず、男性チーム部門ほどのチームにも優勝のチャンスがありました。

また、女性チームは趣向を凝らした衣装が多く、応援している人の目を楽しませていました。

結果は次のとおりです。

▼男性チーム部門

優勝 天水島

準優勝 よるこびライフ

三位 上鰻池A

四位 ふぞろいの山芋たち

敢闘賞 よし引蔵

パフォーマンス賞 深山会

▼女性チーム部門

優勝 帰って来たカカア天下

準優勝 豊育女

三位 深山会の女房

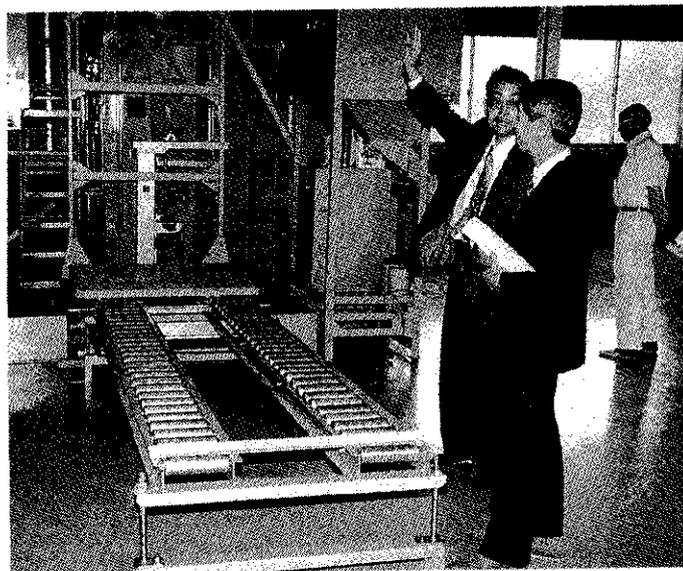
四位及びパフォーマンス賞

弱虫金太郎

敢闘賞 上鰻池B

実力伯仲！ つな引き大会

ライスセンター 低温倉庫竣工式



ライスセンターの最新設備をゆっくり見ました

七月三十日自然休養村センターで、ライスセンター（粃乾燥調整施設）と低温倉庫の竣工式が行われました。

両施設とも巴之下線沿いであり、今秋から農作業の軽減を図るため本格的に稼働します。

なお、各施設の概要は次のとおりです。

▼ライスセンター

◎事業費 約二億二、九六〇万円

◎処理面積 一〇〇ha

◎処理量 六八〇t（生粃）

◎主要な施設設備

荷受ホッパー二基、乾燥機二基（強力な風量と一定湿度で

火力を使用しない乾燥装置。

自然乾燥なので、ハサ掛米以上の食味が期待できる）、貯

留ビン五〇t八基・二五t四

基、粃摺設備一基、計量出荷

設備一基、自主検査装置二基

▼低温倉庫

◎事業費 一億六、四八〇万円

◎収容力 九〇〇t（六〇kgで

一五、〇〇〇俵）

◎主要な施設設備

精米機一式（一時間当り三〇

〇kg）、空調設備（室内を一定

定の湿度に保ち、米の品質低下

を防ぐ装置で、一年中食味が

1 農業・農村問題講演会

七月十七日午後、自然休養村センターで農業・農村問題講演会が行われました。

講師は日本農業賞県代表の松代町大平の相沢政喜さん、(株)吉池社長の高橋登さんの二人で、相沢さんは「小さな村でも百姓はできる」、高橋さんは「都人の発想」と題して、それぞれの立場で農業・農村に寄せる思いを話してくれました。

七月十九日町民グラウンドで、第三回J A杯争奪親善ゲートボール大会が行われました。大会には十六チームが参加しましたが、そのうちの五チームは黒倉集落からの参加でした。大会当日は朝方まで雨が降り続き、グラウンドコンディションが心配されましたが、選手たちの熱意が天に通じたのか予定どおり競技が行われました。

(株)吉池社長の
高橋登さん



日本農業賞
県代表の
相沢政喜さん



2 J A杯親善ゲートボール大会

七月十九日町民グラウンドで、第三回J A杯争奪親善ゲートボール大会が行われました。

大会には十六チームが参加しましたが、そのうちの五チームは黒倉集落からの参加でした。大会当日は朝方まで雨が降り続き、グラウンドコンディションが心配されましたが、選手たちの熱意が天に通じたのか予定どおり競技が行われました。

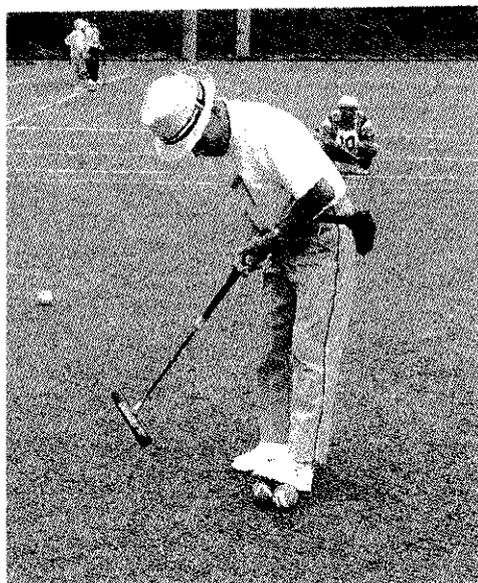
予選リーグは五つのブロックに分かれ、昼食をはさんで午後二時過ぎまで続きました。

自分たちの試合がない時は、同じ集落や老人クラブの仲間を応援していました。各チームとも練習をしてきたのか接戦が多く、一打のミスが勝敗を左右しました。決勝トーナメントには予選リーグで一位になった五チームが

出場し、優勝をめざして熱戦が展開されました。

また、決勝トーナメントが始まるころから雨が降り出し、選手たちは雨具を着て元気にプレーしていました。結果は次のとおりです。

優勝 喜楽チーム
準優勝 黒倉平成Aチーム
三位 川手Aチーム
敢闘賞 湯本長寿会チーム



一打のミスが勝敗を左右しました

3 マウンテンバイク大会

七月二十五日午前、安塚町・大島村・松之山町の高原地帯を横断するマウンテンバイク大会が行われました。

七月二十五日午前、安塚町・大島村・松之山町の高原地帯を横断するマウンテンバイク大会が行われました。

をめぐって力一杯ペダルを踏んでいました。三〇℃を超える暑さに選手たちは汗だくになっていましたが、約二〇kmのコースを早い人で五十分、遅い人でも二時間で完走しました。

4 地域おこし講演会



記者の目から見た過疎問題を話してくれました

七月二十四日午後、旧三省小学校体育館で地域おこし講演会が行われました。

講師は新潟日報社論説委員の渡辺誠さんで、「過疎・高齢化の中で生き延びるために」と題して、記者の目から見た過疎問題等を話してくれました。

渡辺さんは過疎の原因として、①雪・地すべり等の自然災害、②経済効率第一主義による農業政策の欠如、③都市と農村の両極性などに絞りを、今後農村が生き残るために必要と思われる政策や、魅力ある地域づくりについてくわしく話しました。

5 松里保育所運動会

七月三十日午前、松里小学校体育館で松里保育所の運動会が行われました。

全園児による玉入れは、赤組

白組とも同数になり、もう一回挑戦しました。二回目は赤組の玉が全部カゴの中に入り、園児たちは玉がい

くつ入っているのか大きな声で数えていました。また、お父さんやお母さんには、楽しそうに競技しているかわい園児たちを、カメラやビデオに映していました。

汗だくになりながら最後の急坂に挑む選手たち



2回目には赤い玉が全部カゴに入りました

集落探訪

赤倉

歴史と地名

町の北東部、東川下流左岸に位置し、北側を県道五十子平真田線が通る。

松之山町内で一番低い所にある集落で、集落中央高台に十二神社がある。

地名は、集落の対岸にある赤色のガケ(倉「急傾斜地」)に由来する。

天和二(一六八二)年の検地による村高は四石七斗余、戸数三戸、約二〇〇年後の明治元(一八六八)年の村高は十八石八斗余、戸数十七戸となっている。

明治二十二(一八八九)年四月町村制が施行され布川村大字赤倉となり、同三十四年十一月、布川・松之山・松里村が合併し松之山村大字赤倉となった。

赤倉は松代町大字海老と接しており、江戸時代には両村境の大山をめぐってたびたび争いが生じている。

元禄九(一六九八)年には大

山に五か所の境界が築かれ、境界争いは一応決着した。

県道五十子平真田線は十日町市への最短ルートの一つだが、松之山・松代町境は未改良区間が多く交通量は少ない。

天和検地と地すべり

正保二(一六四五)年に作成された越後国絵図による赤倉村の村高は二十四石余、約四十年後に行われた天和検地では四石七斗まで激減している。

また、隣接する坪野村でも三十石余から十六石三斗余に半減している。

おそらく正保から天和の間に大規模な地すべりが発生し、両村とも壊滅的な被害を受けたと思われる。

松之山郷南組(現在の松之山町域)の村々で、正保二年の村高より明治元年の村高が下回っているのは赤倉村だけである。

明治元年の村高と戸数から正



集落中央高台にある十二神社
境内には山の神である十二様を祀る「山野神」碑がある

保二年の赤倉村の戸数を推測すると、最低でも十戸位あったと考えられる。

地すべり発生から天和検地までの間に、荒廃した耕地を棄てて他村に移った人が予想以上に多かつたのかもしれない。

また、現在の赤倉集落の対岸に赤倉字古屋敷と坪野字古屋敷という小字名が残されている。

坪野字古屋敷は赤倉字古屋敷より下流に位置しており、両小字を囲むようにダンゴ山がある。

推測だが両村に大被害をもたらした地すべりは、ダンゴ山の

斜面で発生したもので、赤倉村と坪野村の人々は古屋敷から現在地に移住したのかもしれない。

十二神社と山野神碑

集落中央高台に十二神社(祭神・大山祇命)があるが、創立年月は不明である。

また、十二神社は山の神であり、町内では十社祀られている。境内には「山野神」碑(石碑)があり、十二講がさかんに行われていたと思われる。

山神を十二様と呼ぶ地方は多

く、山で仕事をする人たちは、二月十二日に山の神に供え物を上げて祝っていた。

これが十二講とよばれる山の神祭りである。

十二講では、木または山竹で作られた弓と、カラコが十二個(二個のところもある)入れられた藁包を供え物として、苗代への道、山道の四つ角、神社の境内などに供えた。

二月十二日には十二様が山から下り、秋の稲刈り後には山に帰るといい、冬期間は十二社の神は留守になるといわれている。

このことから、赤倉では十二様を毎年祀られるよう、十二社境内に「山野神」碑を建立したのと思われる。

二十三日夜塔と二十三日講

集落南方高台に二十三日夜塔がある。

二十三日講は三夜様といって、赤倉でも盛んに信仰されていた。

毎月二十三日になると講宿に講員が集まり、月の出まで勤行し、持ち寄りの御馳走を食べて話し合い、二十三日の月の出を拝して帰宅した。

知っておきたい年金知識

老齢福祉年金を受け取ったら年金証書を提出しましょう

老齢福祉年金を受けている方は、八月期の年金を受け取ったら速やかに「国民年金証書」を、市町村役場の国民年金係へ提出してください。

年金が全額支給停止になって、提出が必要になります。証書が提出されると、所得の状況や生計維持関係などを審査し、来年七月までの年金が受けられるかどうか決定されます。国民年金証書の提出がないと、年金の支給決定ができませんので、忘れないようにしましょう。

長い人生、こんなときに年金の届出・手続きが必要です

就職や結婚などで職業や生活パターンが変わると、国民年金の届出・手続きが必要です。

国民年金の加入者は、第一号被保険者（自営業者や学生）、第二号被保険者（サラリーマンやOL）、第三号被保険者（サラリーマンの奥さん）の三つに分けられます。この被保険者の種類が変わると、国民年金の種類変更の手続きをしなければなりません。届出を忘れていたり、年金が減額されたり、受けられなくなったりすることがありますので、届出は市町村役場の国民年金の窓口で行います。印鑑・年金手帳・健康保険証などが必要となりますので、忘れずに持参してください。

～こんなとき、こんな届出を！～

	こんなとき	変更
第1号被保険者	会社・役所・学校・法人に就職	第1号→第2号
	自営業の夫が会社に就職	第1号→第3号
	家事手伝いの女性がサラリーマンと結婚	第1号→第3号
第2号被保険者	サラリーマンが自営業に転業	第2号→第1号
	OLが自営業に転業	第2号→第1号
	既婚OLが退職して専業主婦になった（夫が自営業）	第2号→第1号
	既婚OLが退職して専業主婦になった（夫がサラリーマン）	第2号→第3号
	OLがサラリーマンと結婚退職し専業主婦になった	第2号→第3号
第3号被保険者	夫がサラリーマン ↔ 公務員に転職	第3号→第3号
	夫が退職	第3号→第1号
	あなた自身の収入が増え、夫の扶養からはずれた	第3号→第1号
	専業主婦をやめ会社に就職	第3号→第2号
	夫と離婚・夫が65歳到達	第3号→第1号

おらが町の下水道Q&A

先月号で下水道加入率を報告しましたが、未加入であった方も少しづつではありますから、加入していただいています。

下水道係では、来年からの管渠工事の実施に向けて準備を進めているところですが、工事に必要な地形図（平面図）を作成することになりました。つきましては、その準備として八月中旬頃から測量業者が計測を行います。

画処理区域内の測量を始めますので、皆さまのご協力をお願いします。

また、測量は加入・未加入にかかわらず、各家の大きさを確認のため家のまわりを調査させていただきます。

なお、測量業者の方は町が発行した身分証明書（見本参照）を所持しています。

(見本)

第 号	身分証明書
	氏 名
	平成 年 月 日
	中野測量航業(株)上越支店
上記の者は、下水道法第32条1項の規定により、他人の土地に立ち入ることができる者であることを証する。	
発行年月日	平成 年 月 日
有効期限	平成 年 月 日
任命権者	松之山町長 村山 政 光 印

公民館 だより

公民館 ☎ 6-2265

文化情報

ながなわとび大会

七月一日夜、町民体育館で第六回ながなわとび大会が行われました。

予選には十一チームが参加し、他のチームの回数を気にしながら作戦を練っていました。

予選最後は昨年度一位のビーズチームと二位の松屋ラビッツチームで、誰もが簡単に予選を通過するものと思っていました。

しかし、一回目の成績が予選通過どころか最下位争いに近い回数のため、二回目には相当のプレッシャーが感じられました。二チームとも二回目で回数を増やしましたが、結局予選通過

ラインに達しませんでした。決勝戦は六チームで行われ、予選から安定していた上瀬池Aチームが逃げ切りました。

また、決勝戦で一〇〇回を超えた三チームは、すべて上布川地区のチームでした。結果は次のとおりです。

決勝戦成績

- 一位 上瀬池A 一三四回
- 二位 東川二号 一二六回
- 三位 鏡ヶ池 一一〇回
- ▼ジャンプ賞(予選の成績)
- 一位 上瀬池A 一一一回
- 二位 東川二号 九三回
- 三位 下布川 八〇回

郡内文化財

史跡探訪

郡内には数々の文化財・史跡等が残されています。

先人の築いた歴史の足跡を訪ね、郷土の素晴らしさを再発見してみませんか。

主な視察地は板山不動尊、虫川大杉、宮口古墳などです。

▼期日 八月二十三日(月)

▼定員 四十名

▼経費 昼食代等若干あり

▼申込み 八月二十日までに公民館へ

資料館特別展開催に伴う

展示用資料の借用について

民俗資料館では、九月から特別展開催(保坂玉泉展)を予定しています。

故保坂玉泉氏は豊田出身で、観音寺住職、駒沢大学教授、同大学総長を歴任するなど、多方面にわたって活躍される一方、芸術文化面における活動も顕著で、書を中心に数々の作品を遺されています。

玉泉氏の遺品(書に限らずどんなものでも結構です)を所有

されている方で、特別展にお貸しただけの方は公民館までご一報ください。

▼保坂玉泉略歴

- 明治二十年五月十五日生まれ
- 大正五年 駒沢大学教授
- 昭和三年 観音寺二十九世
- 昭和十年 駒沢大学教授
- 昭和三十三年七月 文学博士
- 同年八月 駒沢大学総長
- 昭和三十九年八月二十八日 七十八歳で死亡

親子映画の夕へ

今回の作品は、「風の谷のナウシカ」となりの「トロ」の宮崎駿監督のアニメーション映画「紅の豚」です。

主人公は、自分に魔法をかけて豚となった賞金稼ぎの男で、海賊ならぬ「空賊」として恐れられています。

そんな男にも愛が……

▼日時 八月二十一日(土) 午後七時から

▼会場 自然休養村センター

▼題名 紅の豚



跳び手と回し手の呼吸が合わないと 100回以上は跳べませんでした

婦人会コーナー

子供たちの健全育成のためご協力を!

七月十三日自然休養村センターで、町学校警察連絡会が行われました。

「松之山の子供たちの健全育成をどのように進めたら良いのか」ということで、小・中・高校、警察、地域の関係者が一同に集

楽しかった連合婦人会役員リーダー研修会

大雨警報が出されていた七月十三日夜、町連合婦人会役員全員によるリーダー研修会が開催されました。

私達の願いが天に届いたのか、心配していた大雨が小嵐状態になり、特に都合の悪い方を除いて全員が集まりました。

色々と苦労されている役員の方々に何か楽しんでもらおうと、十日町の佐野久美先生を講師として迎え、ゲームとダンスの夕べになりました。

大樽で夕食の弁当を食べ、町民体育館で約二時間頭と体の運動を行いました。

赤・白二組に分かれ、ボール

まっつて真剣な話し合いをいたしました。

子供たちと一番身近に接している母親も、子離れた母親も一緒になって、良い生活習慣をつくるために話し合ったり、注意したり、励ましたりしたいも

を両足にはさんでヨーイドンのリレー、これはなかなか難しかったです。

次はウチワの上に小さなボールを乗せて落さないように走り次の人に渡すリレー、これは思ったより簡単でした。

ゲームの終りはジャンケンテープ取り競争でした。一人が四本のテープを持ち、ジャンケンで勝った人は相手のテープを一本もらい、一番多くテープを取った人は十六本も持っていました。

次は、「切手のない贈りもの」という歌と手話遊び。

ダンスは「誕生日のうた」と

のです。

子供に注意するには、自分自身にもある程度きびしくしなければなりません。

子供たちは、我々大人のすることを良く見ているのです。

「ハメハメハ大王」で、若返られる簡単なダンスでした。

最後は「おめでた音頭」という踊りで、アツという間に時間が過ぎてしまいました。

色々な集りの機会に、思い出して楽しんでみてはいかがでしょうか。



平成六年度採用上越地域消防事務組合消防職員募集

上越地域消防事務組合では、平成六年度採用の消防職員を募集しています。

○平成五年九月十九日(日)
○上越地域消防事務組合消防本部 (上越市北城町二丁目)

- ▼職種及び採用予定人員
消防吏員 男子 若干名
- ▼受験資格
(1) 学歴及び年齢
昭和四十二年四月二日以降に生まれた者で、高等学校以上を卒業した者、または平成六年三月に卒業見込みの者。
- (2) 身体基準
身長一六〇cm以上、体重一五五kg以上、胸囲―身長概ね二分の一以上、視力―両眼とも裸眼視力〇・三以上を有し、色覚正常、聴力―左右正常
- ▼試験日及び会場(第一次試験)
○二五五―二五―一九九
- ▼合格発表
十月上旬、受験者全員に合・否を通知します。
- ▼受付期間
平成五年八月十一日(水)から八月二十五日(水)まで
- ▼受験申込み用紙の交付
消防本部及び消防署、分遣所 高校在学者は学校所定の用紙
- ▼問い合わせ先
消防本部総務課企画人事係

丸山サワさん、北陸地区体育指導委員協議会表彰受賞

富山市で七月二日から三日まで開催された、北陸地区体育指導委員協議会では、丸山サワさんが同地区体育指導委員協議会表彰を受賞しました。

丸山さんは長年町の体育指導委員として活躍され、現在もスポーツの普及に努力されています。

これからも頑張ってください。



丸山サワさん

お知らせ

夏の火災予防運動 8/11 ～ 8/20

夏休み・お盆を迎え、帰省客や観光客で町内の人口も急激に増加し、火気を取り扱う機会が多くなり、火災の発生が考えられることから、この時期における火災の防止を目的に実施します。

◎仏壇の回りからの出火防止。特にロートソク・線香の転倒に注意する。

◎子供の花火、火遊びによる火災防止。

花火をするときは必ず大人がついていること。

◎台所を預る主婦の不注意や、うっかりによる火災防止。

◎強風時での花火・焚火等屋外での火の使用に注意する。

◎学校・公共施設利用者の火気の取り扱い、利用後の火の元確認を徹底させる。

9月9日は救急の日 9/5～9/11は救急医療週間

救急の日及び救急医療週間は、救急医療及び救急業務に対する正しい理解と認識を国民から深めてもらうためと、救急医療関係者の意識の高揚を図るために設けられたものです。

▼救急車を利用するとき

救急車を呼ぶときは、次のことをあわせてはつきり伝えましょう。

◎応急手当の方法を覚えよう

救急車が到着するまでの間に適切な応急手当を行うと、傷病者の救命率が格段に高まること

が医学的にも明らかにされています。

救急講習会の開催についての問い合わせは分遣所まで。

☎六―二三三〇

- ①救急事故等の発生場所と近く
 - ②ケガ人や病人の現在の容体、意識や呼吸の有無等
- そして、救急車のサイレンが聞えてきたら、外へ出て傷病者を



上越保健所健康テレフォンサービス

病気の予防や健康づくりに関役立つテレフォンサービスです。

サービス時間帯は、平日午後五時から翌日午前八時三十分、土・日曜日、祝日は終日実施。

なお、電話番号と八・九月分の内容は次のとおりです。

- ☎〇二五五―二三―一三一五
- ◎月曜日：乳幼児突然死症候群について
- ◎火曜日：健康づくりはコップ一杯の牛乳から
- ◎水曜日：肥満よさようなら
- ◎木曜日：アルコール依存症について
- ◎金・土・日：エイズについて



短歌

低温にちからなく鳴く蟬の声
きりり晴れる梅雨明け待たん
よへの雨朝日に光る花の穂
紫碧深めしあじさいの花
雨によし晴れて又よし紫陽花の
花のいのちは短かくあらず
小谷 鈴木 俊一(栄屋)

俳句

乾杯のビールに果なき梅雨長し
万緑の一樹に梅雨のからみ落ち
駐車場一角今年も西瓜市
留守番の子母待ちこがれ西瓜見
観音寺 滝沢 流石(丸久)

釣り竿に注意してください

カーボン製の釣り竿は、電氣を通しやすいので電線に触れると大変危険です。

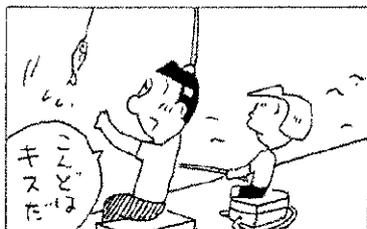
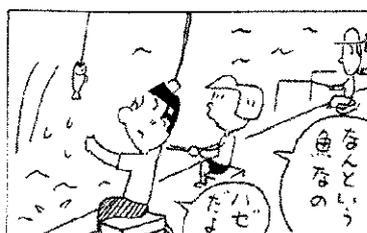
釣りをする時は、回りに電線があるかどうか十分確認してください。

また、子供たちにも注意してあげてください。

その他、事故や台風などで切れた電線も危険です。

切れた電線には絶対に触れないで、すぐに最寄りの東北電力へ連絡してください。

◎松代サービスセンター
☎七―二〇二〇



献血にご協力ください

皆様の献血によりたくさんの尊い命が救われます。
一人でも多くの方の献血をお願いします。

◎日 時 9月3日(金曜日)
午前9時30分～12時
午後1時～3時30分まで受付

◎場 所 松之山町役場

松岡斉写真展開催

町文化協会後援の松岡斉写真展がお盆に開催されます。
松岡さんは全国の農村風景や暮らしぶりを撮影しており、松之山町にも何回か来ています。

今回の写真展は、昭和40年代前半の松之山町の暮らしぶりが良くわかる構成になっていますので、ぜひご覧ください。

◎日 時 8月13日(金)～15日(日) 午前9時～午後5時まで

◎場 所 自然休養村センター大会議室

温泉街一斉休業日のお知らせ

9月1日・2日は温泉街の一斉休業日です。

旅館・飲食店・温泉センターは休みとなりますので注意してください。

ただし、民宿ゆのしまとおふくろ館は営業します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

キャサリンさんの随筆コーナー

父親の価値

この間、子供達を連れてプールに行きました。
そこでは家族連れでにぎわっていました。

私はそれらの人達を見つめながら、お母さんが子供に接する接し方と、お父さんが接する接し方との違いに気づきました。

お母さん方は、子供達がおぼれないようにと、とても安全に気をつかっていたのに対し、お父さん方は子供を空中に放り上げ、エキサイトな水遊びを教えていました。

確かに男性と女性の性質はとも違いますが。

男性はとても活動的で、常により大きな事に挑戦しようとしています。

女性は友人などと話しをすることを好み、とても情的で美しいものを求めます。

こんなにも異なる性質の人間が、同じ地上で生活するという事に驚きを感じます。

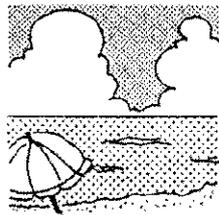
さて、子供にとって母親の愛

による支えが必要であるばかりでなく、父親の言葉はひととき重要であると思います。

もし父親が「よくやった」と子供を誉めてあげたら、次はもっと頑張りたいと思うでしょう。父親と良き関係にある子供は、成長し大人になってから困難な事にもぶつかっても乗り越えて行くことが可能であるように思います。

統計によると、青少年の不良化、自殺、麻薬の使用等の問題を起す子供は、父親との関係があまり良くないという結果がでてきます。

強く善き子として育てるために、父母の愛、つまり優しき母の愛と、雄大な父の愛が必要であると感ずります。

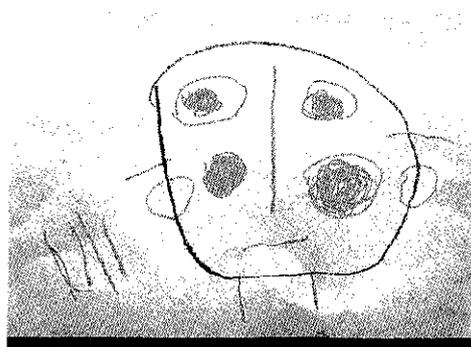


温泉定休日

	温泉センター	翠の湯
8月	5日・26日	無休
9月	1日・2日	1日・16日
	9日・24日	30日



りす組
なかじまめぐみさん
(水梨 松本)



めぐみがね、すべり台にのって
いるところ

戸籍の窓

おめでた(出生)

(生年月日)

- 慎悟ちゃん 山岸昌平・まゆみさんの長男
新山(倉の下) 5・6・28
裕仁ちゃん 佐藤 仁・牧子さんの長男
曾根(沢) 5・7・26

おくやみ(死亡)

(死亡年月日)

- 村山恒巨さん 85歳
橋詰(重屋) 5・7・19
滝沢 勇さん 85歳
松之山(佃屋) 5・7・25

※7月1日から31日までの届出分です。



りす組
おのづかりみさん
(東川 大和屋)



ママとサーラームーンごっこ
をしているところ

- ▼7月のできごと
- 2日 選挙管理委員会
- 4日 那青年大会
- 10日 ながなわとび大会
- 12日 民生委員協議会
- 14日 町高齢者スポーツ大会
- 15日 町民つな引き大会
- 17日 農業・農村問題講演会
- 18日 衆議院議員総選挙投票日
- 20日 年金相談(役場)
- 23日 乳幼児健康診断
- 25日 マウンテンバイク大会
- 26日 学童親善水泳大会
- 29日 農業委員会総会
- 30日 ライスセンター・低温倉庫竣工式
- ▼8月11日～9月10日の予定
- 11日 リハビリ教室(さわやか)
- 12日 冒険学校
- (15日まで・大蔵寺高原)
- 21日 親子映画の夕べ
- 22日 町民ミニバレーボール大会(町民体育館)
- 26日 リハビリ教室(すこやか)
- 3日 献血(役場)
- 8日 リハビリ教室(合同)

こよみ



編集後記

二ページ予定していた町民体育大会が雨のため中止になり、今月号は十四ページと少し薄くなりました。
さて、衆議院議員総選挙が終り、非自民の連立政権がスタートしました。
日本を取り巻く環境は厳しく、貿易黒字・コメ問題など前途は多難です。
コメ問題は私達の生活に直結するため、皆さんの関心も高いと思います。
今年も低温の日が多く、稲の発育も遅れがちです。
これから暑い日が続き、秋には重い稲穂が実ると良いですね。
佐藤

八月二日の人口

総人口/三、六五六(▲二)

男/一、七八五(▲二)

女/一、八七一(▲一)

世帯数/一、二八〇(▲三)

(一)内は七月一日との比較

▲は減

広報まつのやま八月号

平成五年八月十日発行

発行/新潟県松之山町

☎三三五九一六一三三三二

FAX三三五九一六一三三二五

編集/総務課